

沖縄ろう学校スクールポリシー

1. 学校の教育方針(アドミッション・ポリシー)

聴覚に障害のある幼児児童生徒の持てる力を最大限に伸ばし、生きる力(自ら学ぶ意欲と社会に主体的に関わる力)を育み、社会的・生活的・職業的に自立し社会参加できる人間を育成する。

- (1) 校訓 : 豊かなことば 強い心 健やかな体
- (2) 目指す子供像
 - ① 進んで学び、よく考えて行動する子(自立、自主性、表現力、判断力)
 - ② 心豊かで、思いやりのある子(親切、礼節、感謝、協力)
 - ③ 健康で明るく、たくましい子(元気、明朗、忍耐力、勤労)

2. 育成を目指す資質・能力(グラデュエーション・ポリシー)

- (1) 本校における育成を目指す資質・能力
 - ① 日本語力、学力 ② コミュニケーション力 ③ 主体的に学ぶ(関わる)力 ④ 他者と協働して取り組む力
- (2) 育成すべき資質・能力(三つの柱)を踏まえた具体的目標
 - ① 保有する聴覚、手話を含めた視覚的情報等、様々な手段を活用して日本語力を習得し、社会参加に必要なコミュニケーション力を高め、様々な活動に主体的に取り組むことができるようにする。
 - ② 社会的・生活的・職業的自立を目指し、自分自身を見つめ直したり他者と関わりあったりすることで自己の障害を手認識し、自分でできることを増やし、社会と主体的に関わるために必要な知識、技能、態度及び習慣を身に付け、自ら進んで行動できるようにする。
 - ③ 目標を実現するための見通しを持ちながら主体的に学びに向かい、基礎的・基本的な知識及び技能を習得するとともに、身に付けた知識・技能を活用し、様々な情報を客観的に整理するなど、課題を見出したり解決したりするために必要な思考力、判断力、表現力を育む。
 - ④ 他者との対話や議論を通じて、自分の考えを論理的に伝えられるようにするとともに、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めたり、集団としての考えを発展させたり、他者への思いやりを持って多様な人々と協働したりしていくことができるようにする。
 - ⑤ 変化する社会の中でも感性を豊かに働かせ、社会や世界とのつながりを意識し、試行錯誤しながら問題を発見・解決することで、よりよい社会や人生を実現しようとする態度を養う。

3. 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

- (1) 教師自らが人権意識を強く持ち、幼児児童生徒一人一人を大切に、豊かな人間性を育む教育活動を行う。
- (2) 「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を活用して、一貫性のある「計画・指導・評価」の一体化を図り、一人一人の教育的ニーズに基づく教育実践を行う。
- (3) 学校の教育活動全体で、幼児児童生徒の日本語力及び学力を高める指導を行う。
- (4) 職員一人一人が、手話に関する知識と技能の向上に努め、多様な視覚情報を活用して学び残しのない「わかる授業」を行う。
- (5) 一人一人の生活的・社会的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育み、キャリア発達を促す「キャリア教育」を実践する。
- (6) 集団での活動や生活を通して、人間相互の関係や規律を理解させ、豊かな心を育む指導の充実を図る。
- (7) 健康でたくましい体づくりを目指すため、自ら体力づくりに励む態度を養う。
- (8) 生活的・社会的・職業的自立に必要な生活習慣やマナー(身辺整理や清潔な身なり、時間励行、報・連・相)などの習慣習得を目指す寄宿舎教育を行う。
- (9) 幼児児童生徒一人一人が、自己肯定感及び自己有用感の高揚を促し、自信を生み出す指導を行う。
- (10) 自己理解及び他者理解を促し、人間関係形成能力の発達を目指すとともに社会で生きていく力の育成を図る。